コロナ禍において生活に困難を抱える女性に関する実態調査
結果報告書【要約版】

令和４年２月

１　調査目的

新型コロナウイルス感染拡大の長期化は、女性の雇用や生活の場面で深刻な影響を及ぼしており、孤独や不安を抱える女性の増加が懸念されています。また、在宅時間の増加など、生活形態が変わったことによるストレスなどに起因するＤＶの増加も懸念されています。

この調査は、新型コロナウイルス感染の終息が見えない中、孤独や不安を抱える女性の実態を把握するために実施しました。

２　調査対象

青森県内に在住、または通勤・通学している女性

３　回答者数

１６２人

４　調査方法

青森県電子申請・届出システムを利用したＷＥＢアンケート

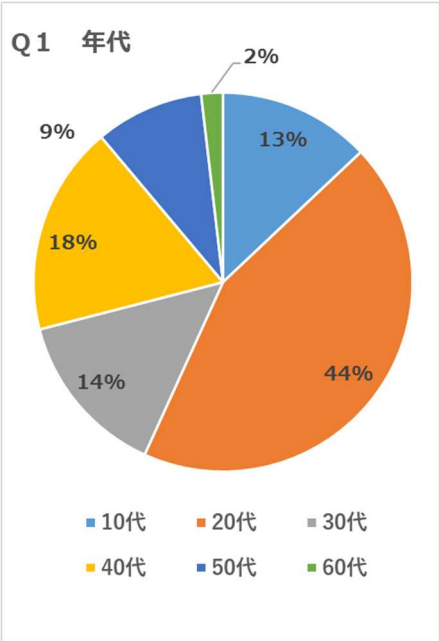
（青森県及び青森県男女共同参画センターのホームページへの掲載、ＳＮＳによる周知、市町村・関係団体等への周知依頼　等）

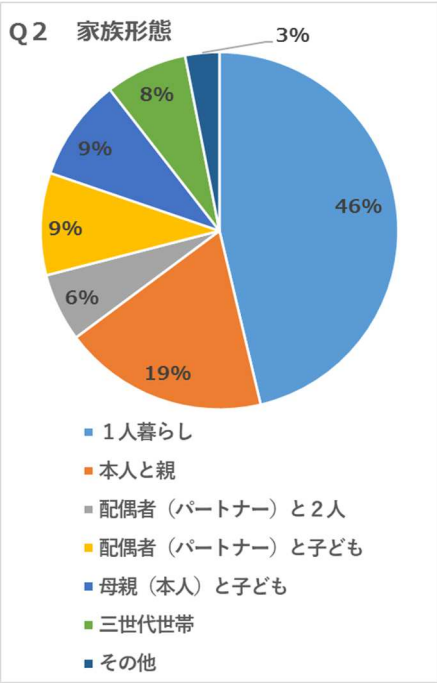
５　調査期間

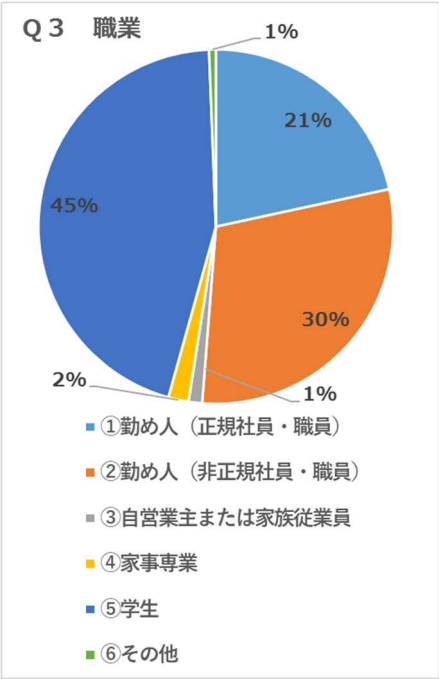
令和３年１０月２７日（水）～１１月３０日（火）

６　調査結果のまとめ

（１）属性



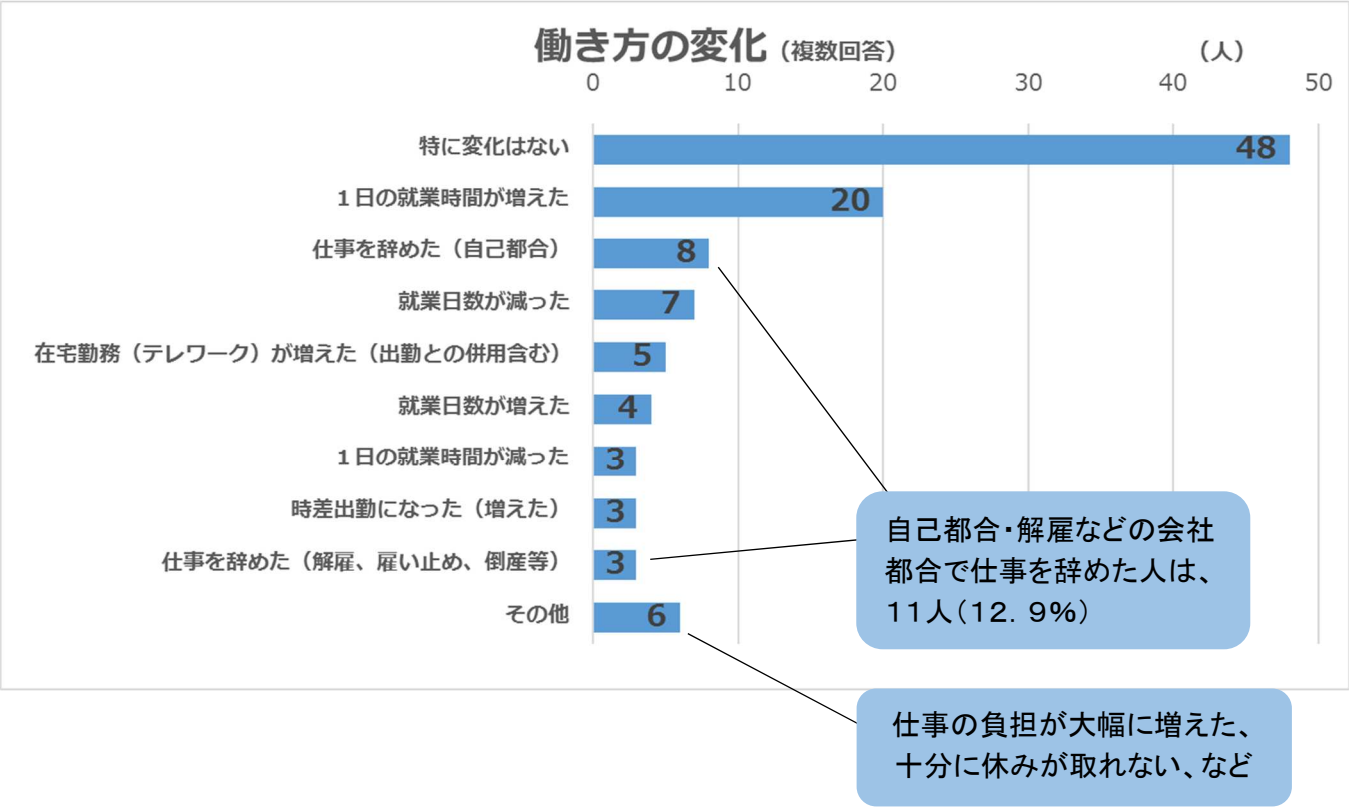




（２）働き方の変化

Ｑ４　コロナ禍前と現在とを比較し、新型コロナウイルスの影響によりあなたの働き方に変化はありましたか。

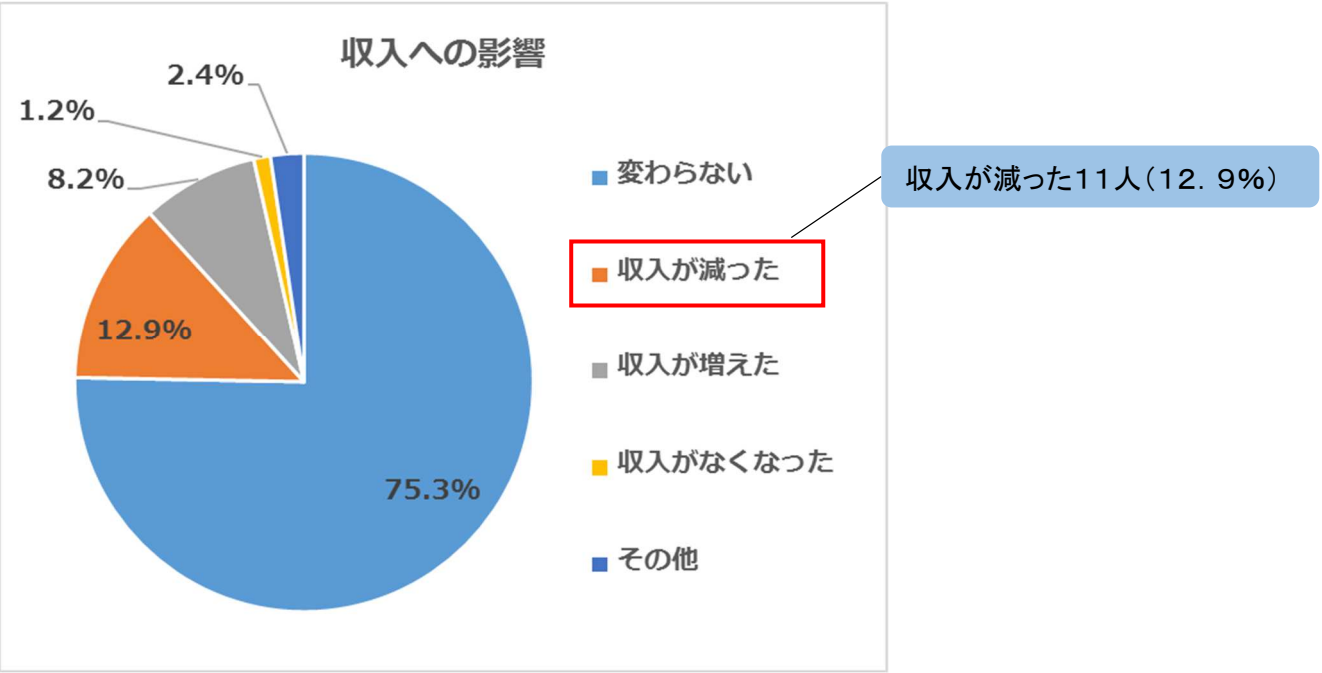
＜Q3 で「①、②、③」のいずれかに回答した方のみの設問＞



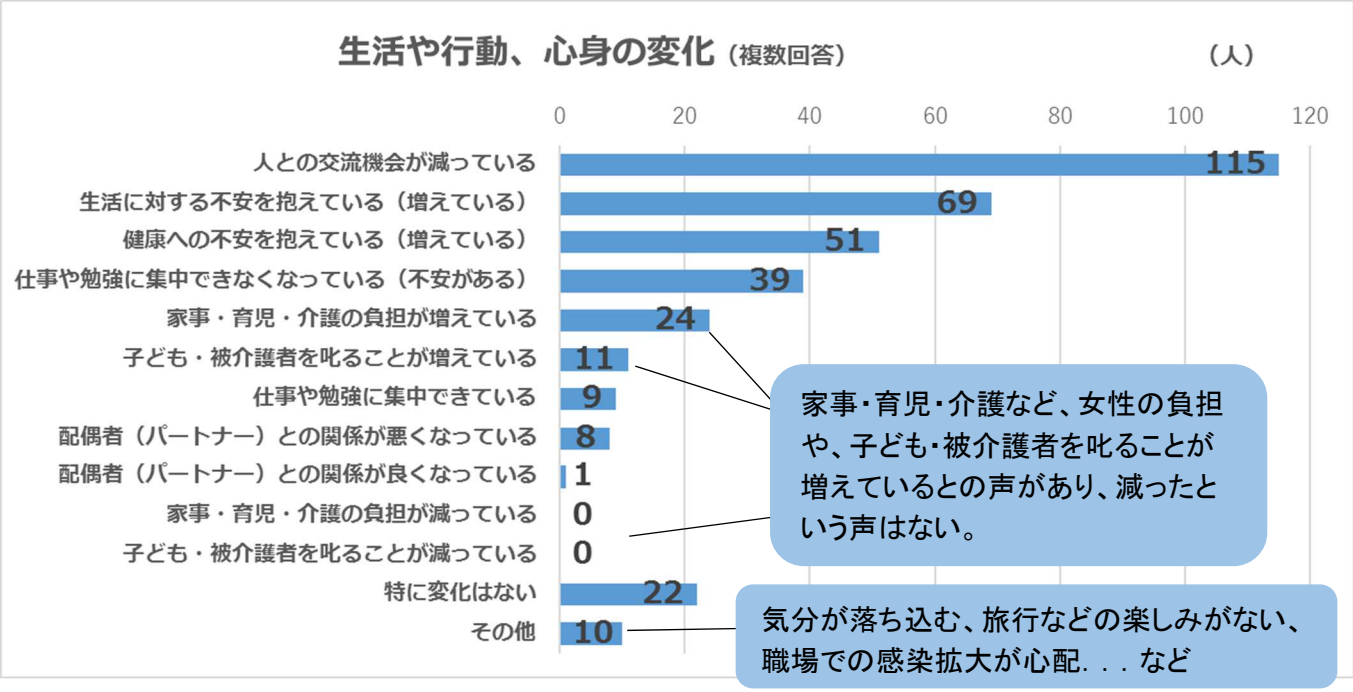
（３）収入・生活・行動の変化・心身への影響

Ｑ５　コロナ禍前と現在とを比較し、あなたの収入に影響はありましたか。

＜Q3 で「①、②、③」のいずれかに回答した方のみの設問＞

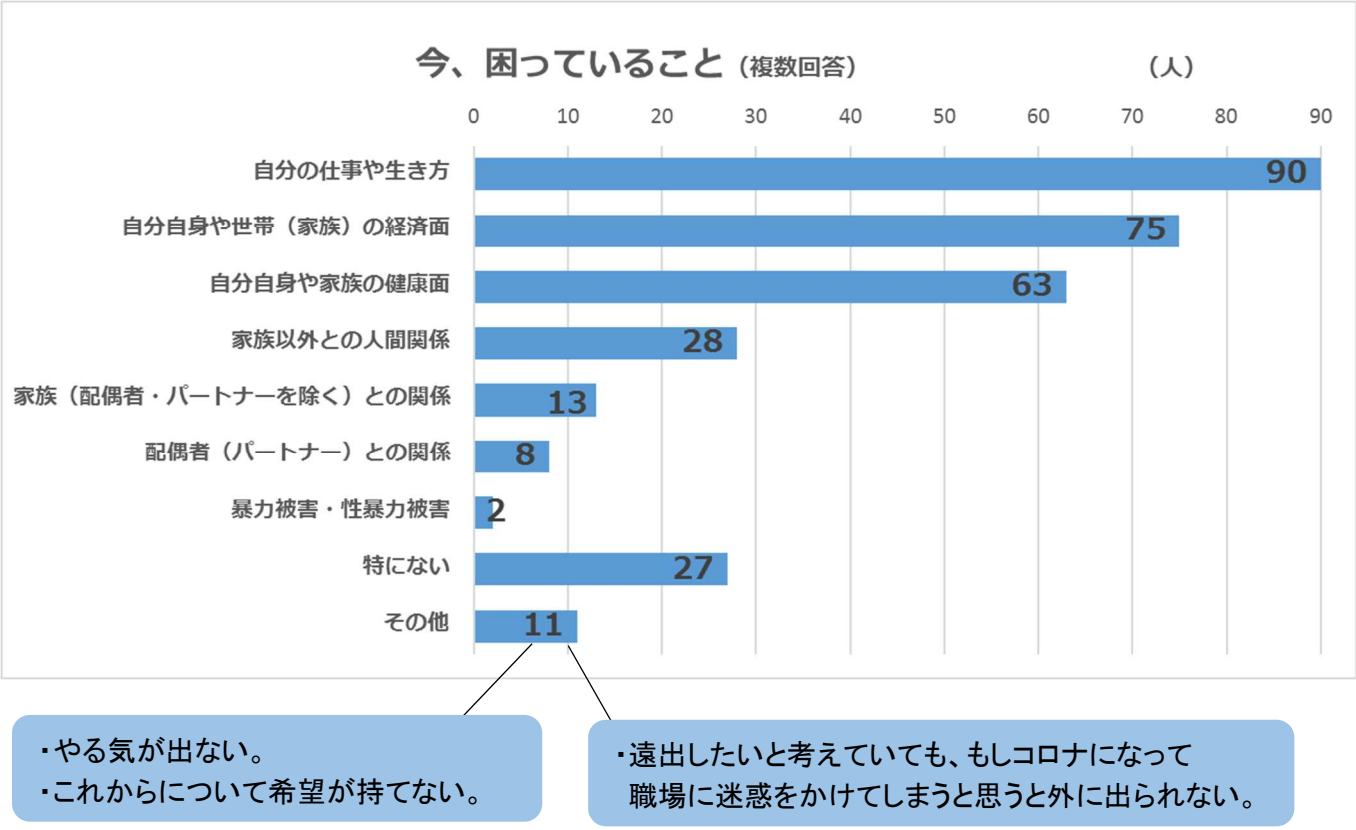


Ｑ６　現在、新型コロナウイルスの影響で、コロナ禍前に比べ、あなたの生活や行動、心身に変化はありますか。【複数回答可】

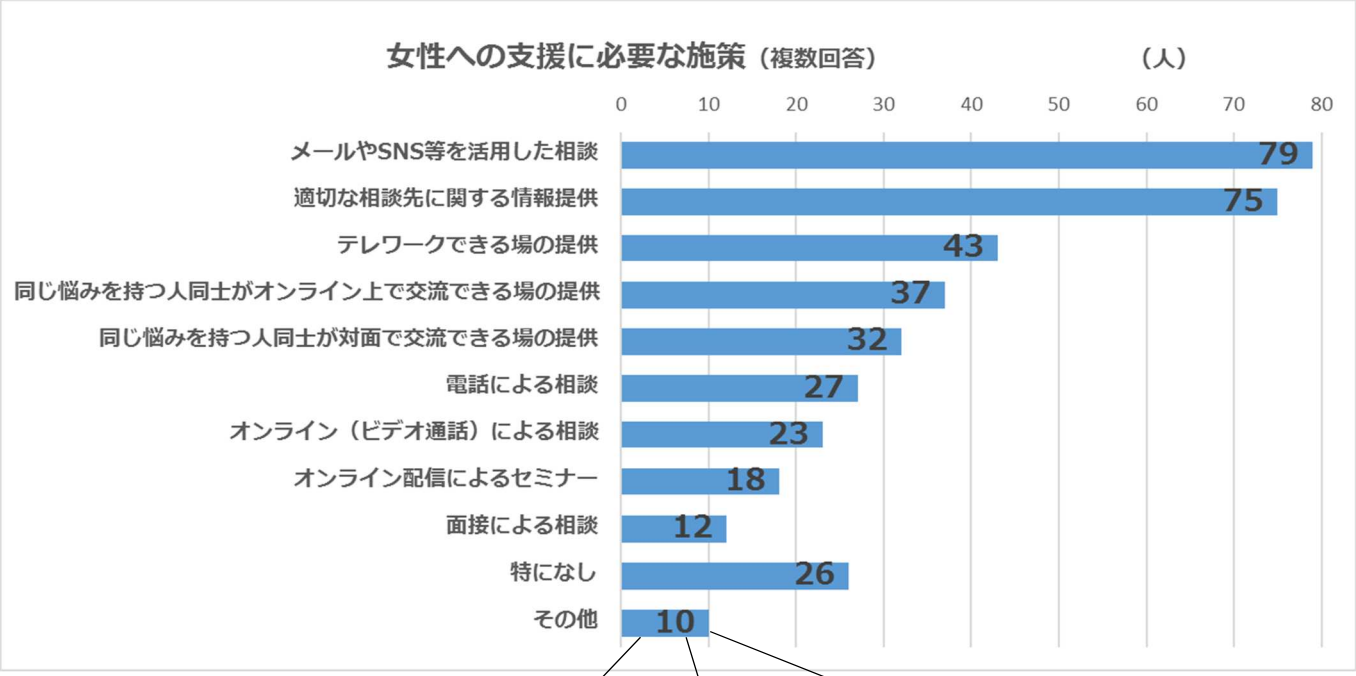


（４）コロナ禍での困りごと・必要な施策について

Ｑ７　今、あなたが困っていることは何ですか。【複数回答可】



Ｑ８　コロナ禍で仕事や生活、家庭等に不安がある女性への支援として、どのような施策が必要だと思いますか。【複数回答可】



・障害女性、高齢女性、外国人女性、レズビアン、バイセクシュアル女性、トランス女性なども、安心して対応してもらえる相談。

・家事、育児、仕事から離れ、一人になれる時間を作れる環境づくり。

・給付金など経済面での支援。
・今年は収入が変わらなくても次年度どうなるかわからない。手当は前年度の収入で見られるので厳しさはこれからにも影響があると思う。

〒030-8570
青森県青森市長島一丁目１番１号
青森県環境生活部
青少年・男女共同参画課　男女共同参画グループ

ＴＥＬ　：０１７－７３４－９２２８
ＦＡＸ　：０１７－７３４－８０５０
ＭＡＩＬ：seishonen@pref.aomori.lg.jp